

## 【地域の概要】

- 春里地区は可児市南西部に位置し、豊かな田園風景のある地区で、南部及び中央部には山林があり2つのゴルフ場がある。
- 東部には開発された住宅団地があり、北部には可児川が流れ、商業施設も多くある。
- 南部は南北に複数の洞が伸びており、水田が広がっている。

## ①取組開始前の状況や課題

**農業従事者の減少・担い手の不足**

○管内の農地面積843haのうち、担い手への集積面積110haで、集積率は13%と低迷

○農業従事者が減少する中、農地の受け手である認定農業者、認定新規就農者、集落営農が不足している

**農業参入を希望する法人の受入れ**

○令和3年度までに市内で6社の農業参入法人が農業経営を開始している

○担い手の育成や掘り起こしとともに、農業参入を希望する企業に対しても農地貸借の支援など、地域でスムーズに農業経営できるサポートが必要

## ②取組内容

**農福連携を推進する企業の農業参入を支援（令和4年4月～）**

○名古屋市の大手企業の特例子会社が、障がい者など多様な人材の就労・活躍のため、新たにイチゴ農園開設を検討

○春里地区でイチゴハウスを設置のための農地取得、農振地の農業用施設用地への用途変更、管理棟など転用手続きを、地区の委員、事務局で支援

**農地6,000㎡を貸借（令和4年5月～）**

○農地中間管理機構を通じ農地を借り受け、1,500㎡に管理棟及び駐車場を整備するため農地転用（5月）

○4,500㎡にイチゴハウス11棟を設置（8月完成）管理棟は11月に完成

**農福連携に関する協定書を締結（令和4年11月）**

○地域の農業振興と社会福祉の充実を図り、地域住民の豊かな生活に寄与するよう企業と市が連携して取り組む

## ③今後の展開と方向性

**農福連携を推進**

○担い手のいない地区での就農であるため、今後の事業拡大等を含め地域の担い手としての成長を期待

○本市での初めての農福連携の事業となり、地域の障がい者雇用の促進にも期待できる



協定書の締結式

## 圃場の状況（イチゴのハウス栽培）

事業実施前の状況



ハウス完成後



ハウスの内部



管理棟

